



平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月10日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	2,097	△1.3	218	△32.0	218	△31.2	132	△25.5
24年4月期第2四半期	2,124	1.4	320	7.8	318	6.8	178	3.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年4月期第2四半期	31.70		—					
24年4月期第2四半期	42.52		—					

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第2四半期	3,605	3,074	85.3
24年4月期	3,770	3,028	80.3

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 3,074百万円 24年4月期 3,028百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割は平成24年5月1日を効力発生日としておりますので、平成24年4月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

3. 平成25年4月期の業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,730	5.5	603	△18.0	600	△18.7	365	△14.4	87.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年4月期2Q	4,366,000株	24年4月期	4,366,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年4月期2Q	179,461株	24年4月期	179,400株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年4月期2Q	4,186,577株	24年4月期2Q	4,186,600株
----------	------------	----------	------------

当社は、平成24年5月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数は、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要により緩やかな回復が見込まれるものの、海外経済の減速とともに円高の進行や原油価格の上昇等による懸念もあり、依然として不透明感な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境につきましては、当社が提案してまいりました個人が1冊から作成する写真集は、「フォトブック」として浸透が進んでおりますものの、景気の先行き不透明感は、消費マインドを抑制しており、業務向けの写真市場や葬祭市場だけでなく、一般消費者市場におきましても、厳しい環境が継続しております。

このような状況の下、当社は景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し、遺影写真等の画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供する安定型ストックビジネスであるメモリアルデザインサービス事業、写真市場という大きな市場に対し、1冊から本格的な写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれ位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

本年10月に本社隣の土地、建物を取得いたしました。現在のところ、パーソナルパブリッシングサービス事業の生産部門およびエアリアルイメージング事業にて利用する予定です。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,097,789千円（前年同四半期比98.7%）、営業利益は218,127千円（前年同四半期比68.0%）、経常利益は218,673千円（前年同四半期比68.8%）、四半期純利益は132,718千円（前年同四半期比74.6%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(メモリアルデザインサービス事業)

メモリアルデザインサービス事業におきましては、額やペーパーなどのサプライ品の売上が堅調だった一方、全般的な葬儀施行件数が例年と比べて少なかったため、遺影写真加工収入が苦戦いたしました。またハード機器の買替が手控えられた影響でハード機器売上が前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は973,478千円（前年同四半期比98.4%）、セグメント利益は303,107千円（前年同四半期比96.6%）となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、国内市場向け写真集が堅調であった一方、海外市場向けの写真集は円高および競争の激化により苦戦いたしました。また、国内業務向け写真集の新製品のリリースに伴い、契約客を対象としたサンプルブックの配布やセミナーの開催など告知活動を積極的に行いました。また、国内一般消費者向けの新たな写真集制作ソフトウェアをリリースし、その広告宣伝にも重点的に取り組んでまいりました。新型印刷機導入により減価償却費が増加したことに加え、新製品・新ソフトウェアのリリースに伴い広告宣伝費や販売促進費が増加しました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,115,686千円（前年同四半期比98.3%）、セグメント利益は131,077千円（前年同四半期比64.0%）となりました。

(エアリアルイメージング事業)

エアリアルイメージング事業におきましては、展示会の出展やデモンストレーションの実施などのマーケティング活動を行うとともに、量産体制に向けての準備や技術開発に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は8,624千円(前年同四半期は実績なし)、セグメント損失は40,676千円(前年同四半期は33,769千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ164,941千円減少し、3,605,626千円となりました。これは主に、現金及び預金が178,550千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ211,237千円減少し、530,986千円となりました。これは主に未払法人税等が44,100千円、前事業年度末に固定資産の購入などにより増加した未払金が116,800千円減少したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ46,296千円増加し、3,074,640千円となりました。これは主に、剰余金の配当として83,732千円計上した一方で、四半期純利益を132,718千円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ178,550千円減少し、756,291千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、218,366千円(前年同四半期は285,994千円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期純利益217,166千円、減価償却費136,736千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、278,156千円(前年同四半期は61,962千円の使用)となりました。これは主に、印刷関連の機械装置や本社隣地の購入など有形固定資産の取得256,864千円、無形固定資産の取得30,540千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、118,757千円(前年同四半期は113,533千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済34,500千円、配当金の支払83,379千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年6月8日に発表いたしました平成25年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,842	1,256,291
受取手形及び売掛金	503,899	482,761
商品及び製品	82,137	81,689
原材料	40,456	37,378
仕掛品	13,579	13,894
その他	86,151	87,432
貸倒引当金	△6,432	△5,803
流動資産合計	2,154,634	1,953,643
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	475,718	496,420
土地	370,758	432,702
その他(純額)	334,618	309,334
有形固定資産合計	1,181,095	1,238,457
無形固定資産	242,937	233,324
投資その他の資産	191,900	180,201
固定資産合計	1,615,933	1,651,983
資産合計	3,770,568	3,605,626
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,804	78,995
未払法人税等	133,200	89,100
賞与引当金	108,600	110,950
その他	389,236	231,798
流動負債合計	717,840	510,844
固定負債		
長期借入金	8,723	—
退職給付引当金	9,385	10,221
その他	6,274	9,921
固定負債合計	24,383	20,142
負債合計	742,223	530,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,057,046	2,106,032
自己株式	△122,549	△122,590
株主資本合計	3,031,381	3,080,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,037	△5,686
評価・換算差額等合計	△3,037	△5,686
純資産合計	3,028,344	3,074,640
負債純資産合計	3,770,568	3,605,626

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
売上高	2,124,840	2,097,789
売上原価	1,011,566	1,037,549
売上総利益	1,113,274	1,060,239
販売費及び一般管理費	792,701	842,112
営業利益	320,572	218,127
営業外収益		
受取利息	169	934
受取配当金	250	284
受取手数料	284	274
その他	545	997
営業外収益合計	1,248	2,491
営業外費用		
支払利息	1,035	498
為替差損	2,735	1,447
その他	27	—
営業外費用合計	3,797	1,945
経常利益	318,023	218,673
特別損失		
固定資産売却損	499	—
固定資産除却損	12,612	1,506
特別損失合計	13,112	1,506
税引前四半期純利益	304,911	217,166
法人税等	126,890	84,447
四半期純利益	178,020	132,718

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	304,911	217,166
減価償却費	104,758	136,736
貸倒引当金の増減額(△は減少)	236	△617
賞与引当金の増減額(△は減少)	△300	2,350
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△781	836
受取利息及び受取配当金	△419	△1,219
支払利息	1,035	498
為替差損益(△は益)	10	3
固定資産売却損益(△は益)	499	—
固定資産除却損	12,612	1,506
売上債権の増減額(△は増加)	20,547	21,138
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,533	3,211
仕入債務の増減額(△は減少)	4,240	△7,808
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,520	△8,558
その他	△9,284	△18,819
小計	459,080	346,424
利息及び配当金の受取額	418	479
利息の支払額	△997	△454
法人税等の支払額	△172,507	△128,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,994	218,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,475	△256,864
無形固定資産の取得による支出	△32,199	△30,540
有形固定資産の売却による収入	250	—
貸付けによる支出	—	△1,500
貸付金の回収による収入	150	150
その他	312	10,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,962	△278,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△34,500	△34,500
配当金の支払額	△79,033	△83,379
自己株式の取得による支出	—	△40
その他	—	△836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△113,533	△118,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	110,488	△178,550
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,449	934,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,254,937	756,291

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	989,405	1,135,434	—	2,124,840	—	2,124,840
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	989,405	1,135,434	—	2,124,840	—	2,124,840
セグメント利益又は損失 (△)	313,888	204,707	△33,769	484,826	△164,253	320,572

(注) 1 セグメント利益の調整額△164,253千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3 エアリアルイメージング事業は、平成23年3月から開始した事業であります。

当第2四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	973,478	1,115,686	8,624	2,097,789	—	2,097,789
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	973,478	1,115,686	8,624	2,097,789	—	2,097,789
セグメント利益又は損失 (△)	303,107	131,077	△40,676	393,507	△175,380	218,127

(注) 1 セグメント利益の調整額△175,380千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。